CBWでのDFSチャネルの識別

目的

この記事の目的は、Cisco Business Wireless(CBW)アクセスポイントで動的周波数選択(DFS)をサポートするチャネルを識別する方法を示すことです。

適用可能なデバイス | [Software Version]

- CBW140AC | 10.8.1.0（最新バージョンをダウンロード）
- CBW141ACM（国内未提供）| 10.8.1.0（最新版をダウンロード）
- CBW142ACM（国内未提供）| 10.8.1.0（最新版をダウンロード）
- CBW143ACM | 10.8.1.0（最新版をダウンロード）
- CBW145AC | 10.8.1.0（最新版をダウンロード）
- CBW240AC | 10.8.1.0（最新バージョンをダウンロード）

はじめに

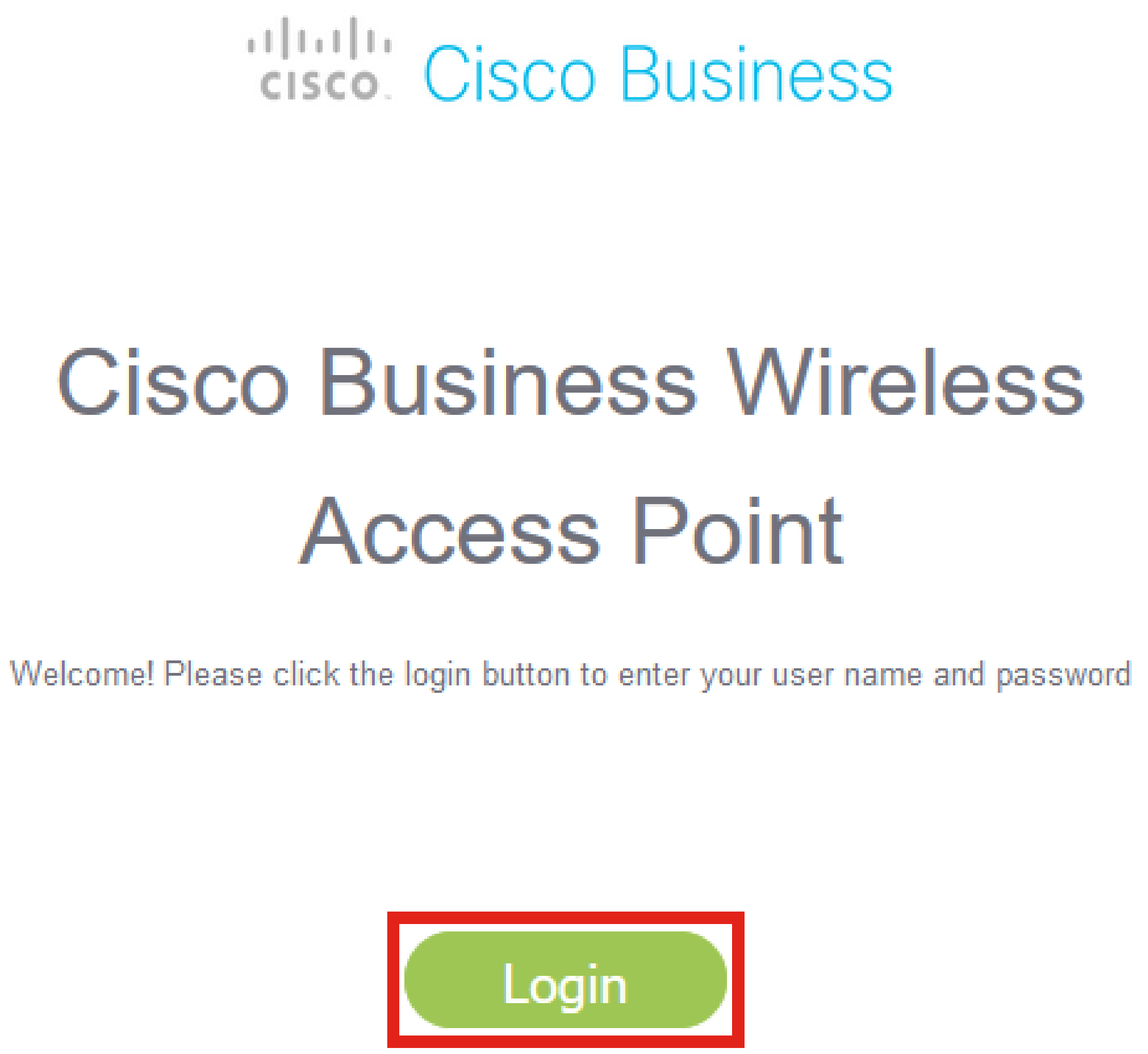
Cisco Business Wirelessデバイスは、Dynamic Frequency Selection(DFS)をサポートしています。米国やその他の国では、5GHz帯域の一部のチャネルは、レーダーなどの他のシステムで使用されています。DFSは、チャネルを動的に削除することで、この干渉を防止できます。

CBWファームウェアバージョン10.8.1.0では、DFSをサポートする5　GHzチャネルにラベルが追加されました。これにより、このようなチャネルを簡単に特定し、設定を行うことができます。米国では、DFSチャネルは52 ～ 144です。ベストプラクティスとして、可能であればDFSチャネルの使用を避けることができます。

DFSチャネルの識別

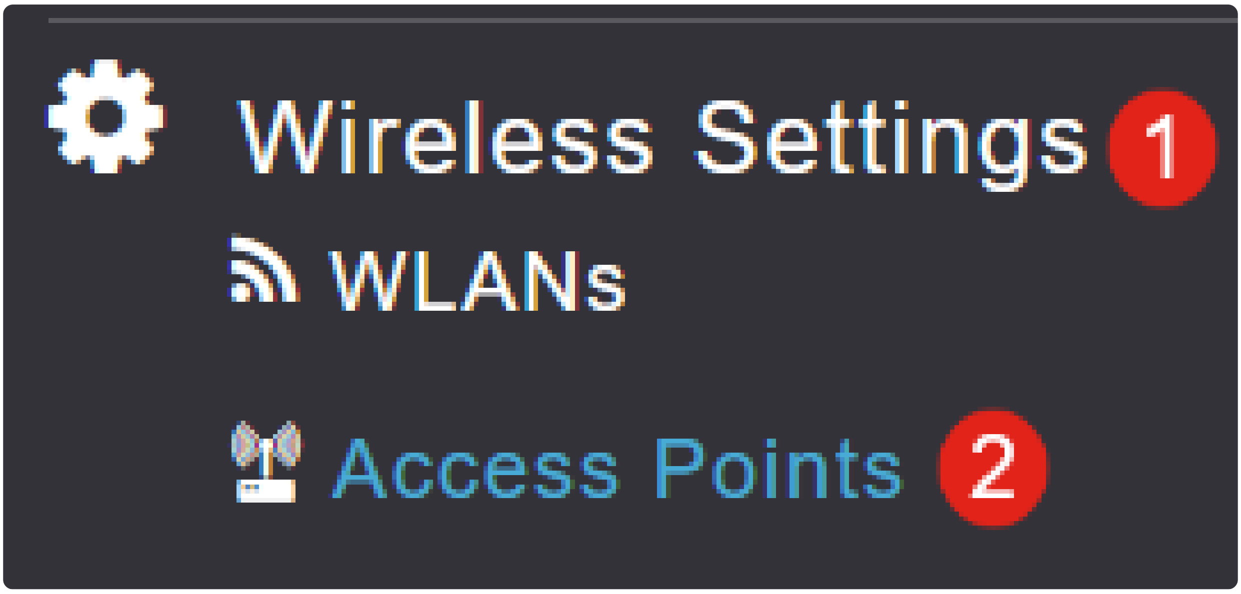
手順 1

プライマリCBW APにログインします。



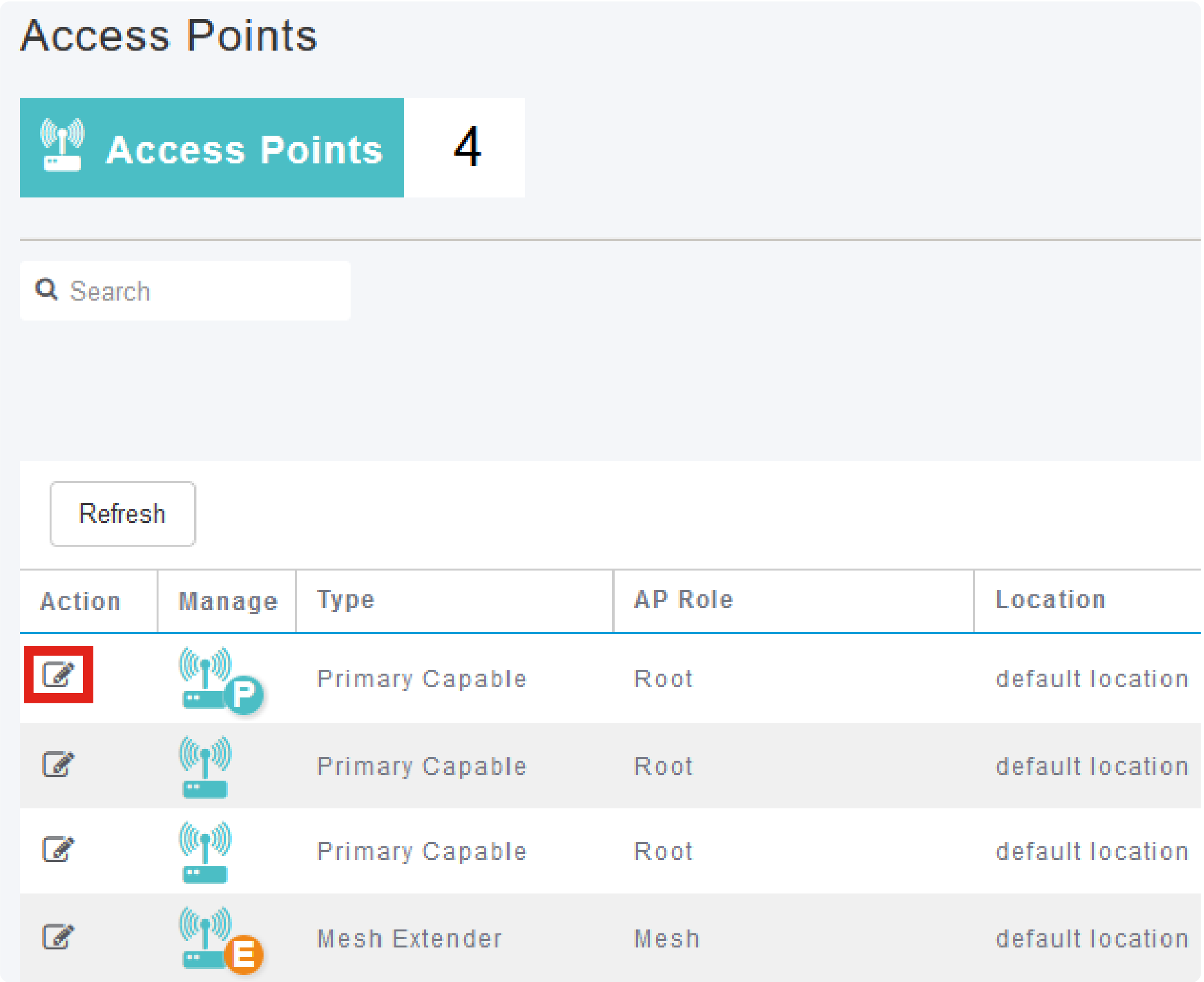
手順 2

Wireless Settings > Access Pointsに移動します。



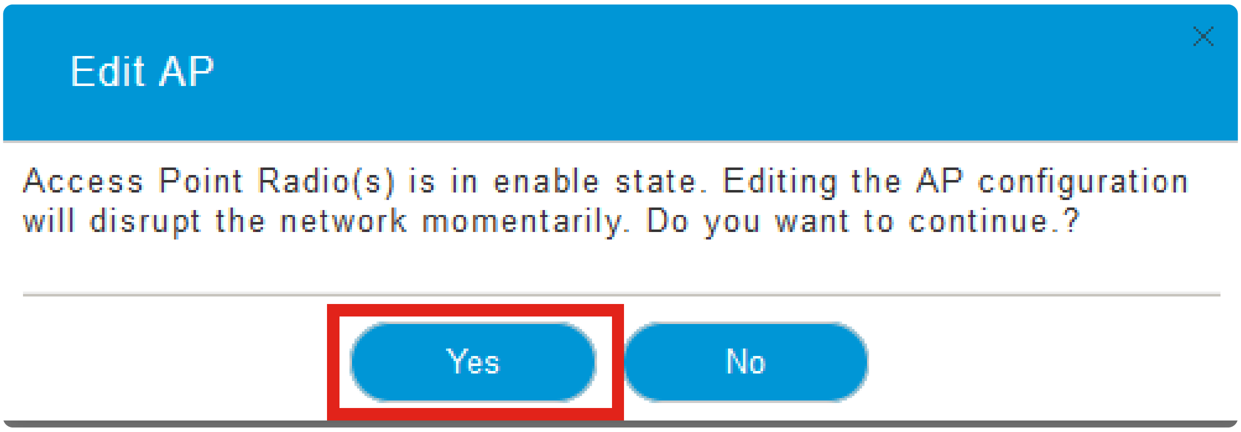
手順 3

編集するアクセスポイントの横にある鉛筆アイコンをクリックします。



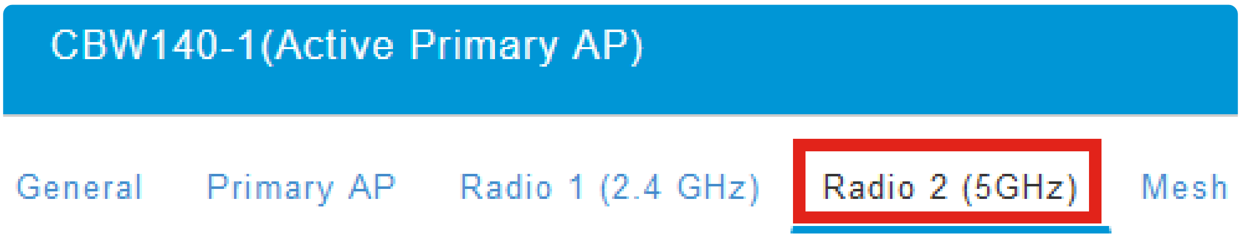
手順 4

ポップアップウィンドウでYesをクリックして続行します。



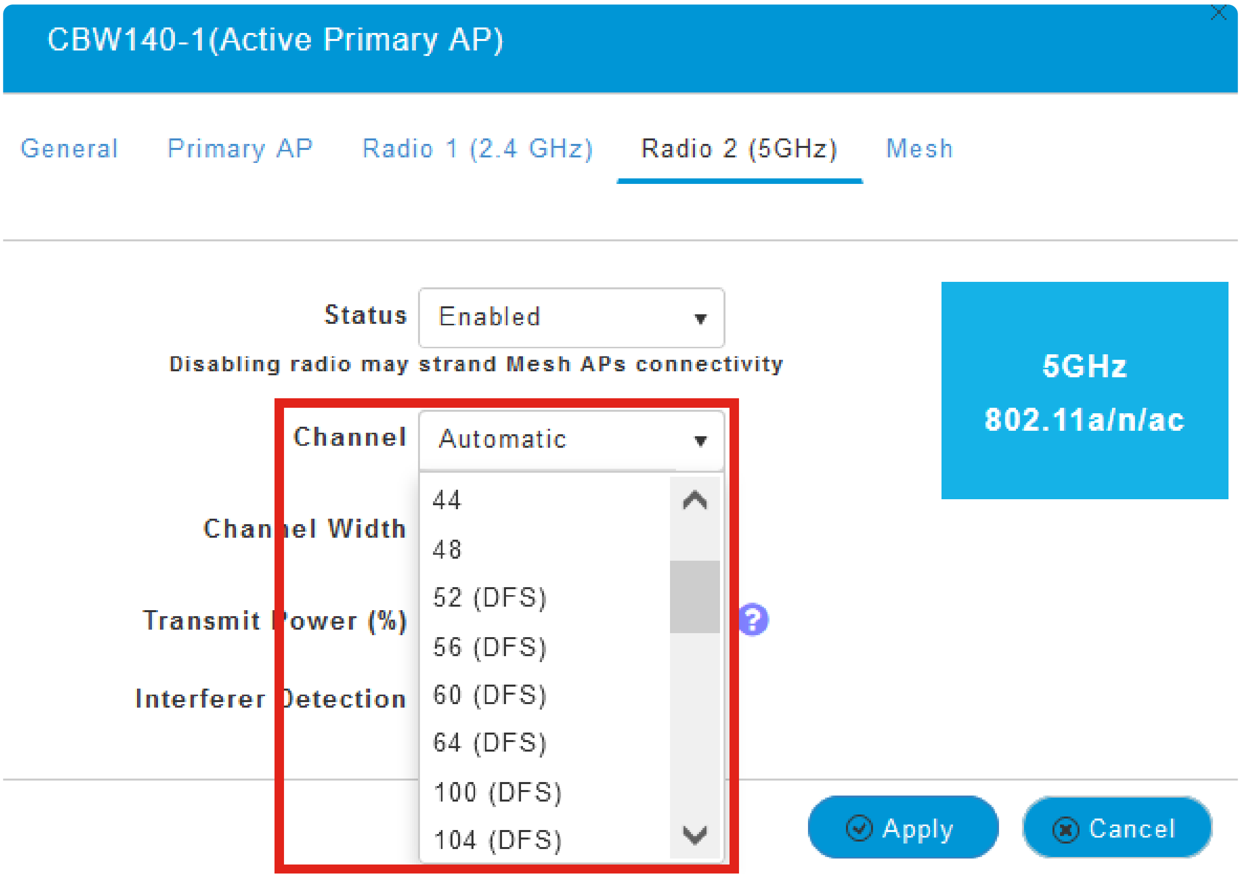
手順 5

Radio 2(5GHz)タブに移動します。



手順 6

Channelドロップダウンメニューをクリックして、DFSをサポートするチャネルを表示します。



Note:

米国では、チャネル番号の横のかっこで囲まれたラベルDFSで示されるように、チャネル52 ~ 144でDFSがサポートされています。

結論

それだけです。これで、CBW　APでDFSをサポートするチャネルを特定する方法がわかりました。

無線周波数(RF)チャネルの詳細については、『Cisco Business Wireless NetworkでのRFチャネル』を参照してください。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。